

# 補助対象機器配置図の作成方法

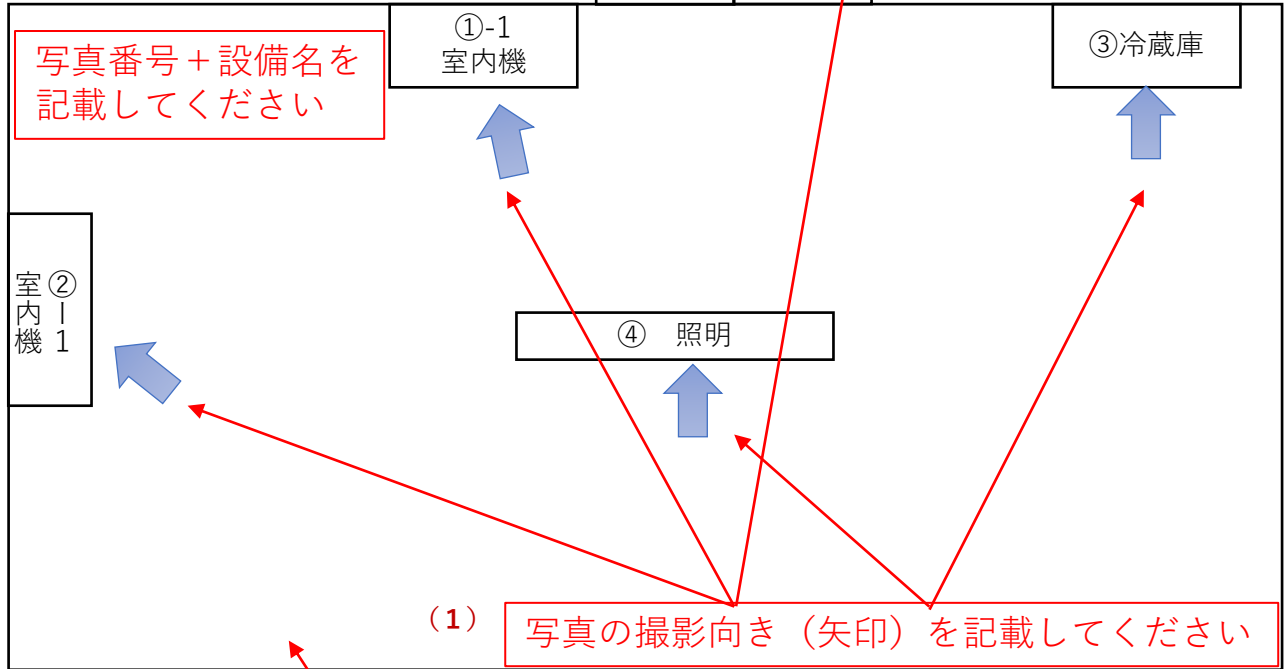
## 補助対象機器配置図

位置関係が分かるよう、そのエリアの名称を記載してください（事務所、会議室等）

場所：1階〇〇室

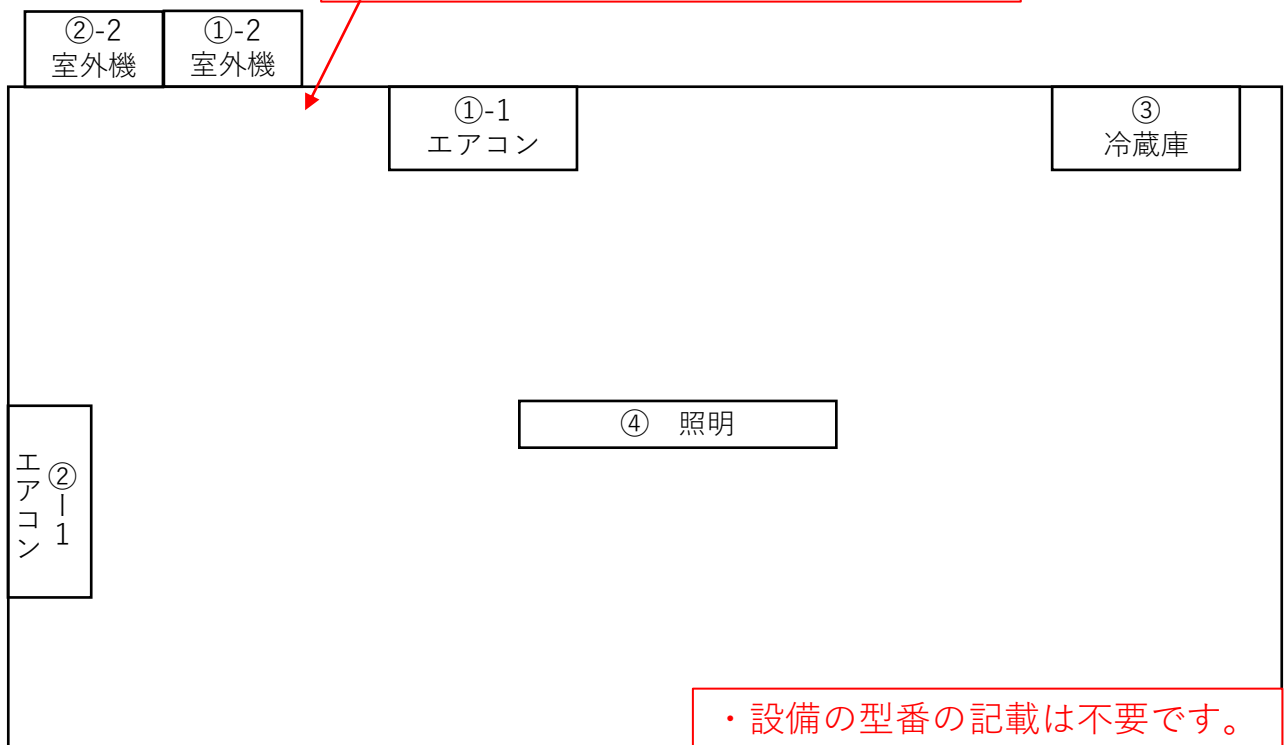
室内機と室外機に分かれおり、それぞれに型番がある場合は写真番号に①-1、①-2のように枝番を振ってください。

### 【更新前】



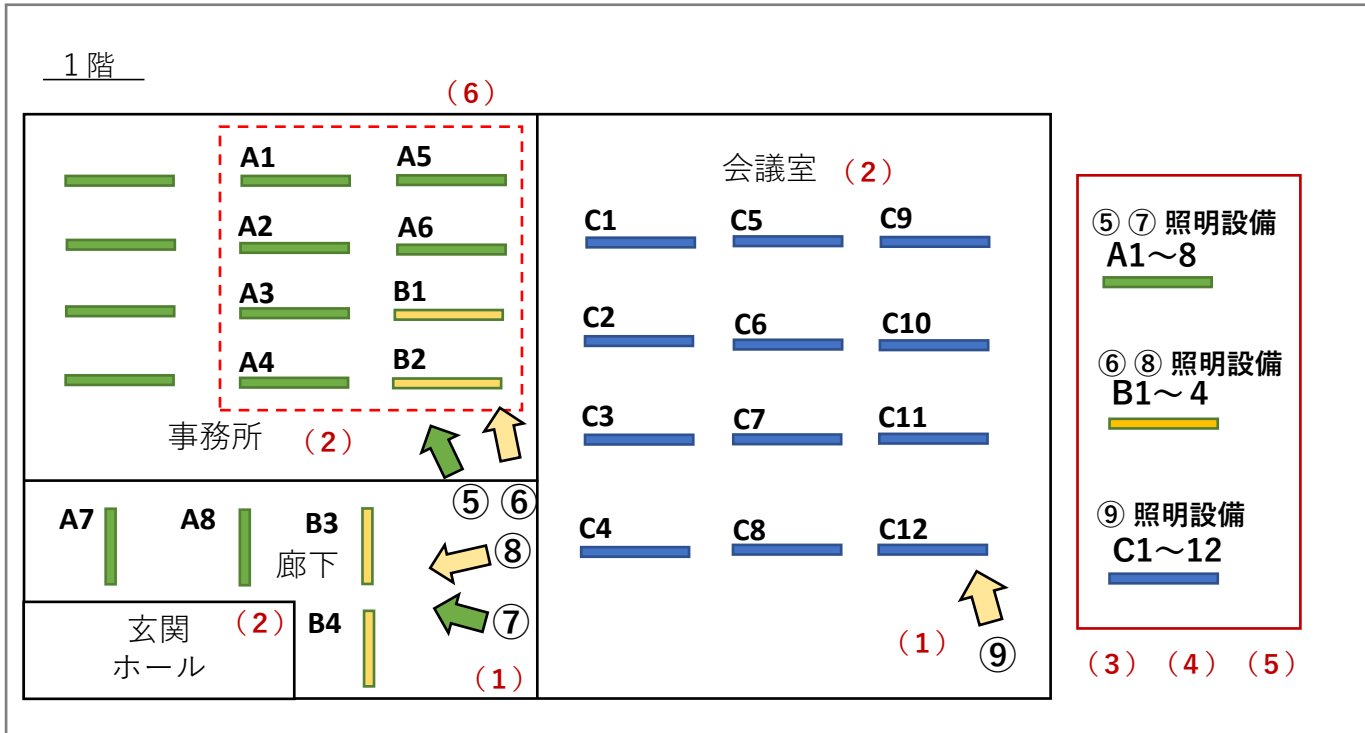
### 【更新後】

変更内容が分かるように更新前後の図面を様式に納めてください



# (参考) 照明の更新等、更新台数が多い場合

(1) ~ (6) は、下記《ポイント》参照



## 《ポイント》

- (1) 写真番号毎に撮影向きを記載してください (写真番号、矢印等)
- (2) 位置関係が分かるよう、そのエリアの名称を記載してください (事務所、会議室 等)
- (3) 番号や色付け等をして、設置箇所の設備がどの設備なのか、分かりやすくまとめてください (形や向き、設置位置等も審査の対象になります)
- (4) 写真番号と合わせて「冷蔵庫」「エアコン (室内機)」などの設備名称をそれぞれ記載してください。 (例：③冷蔵庫等) ※エアコンのように一つの設備が室内機と室外機に分かれおり、それぞれに型番がある場合は写真番号に①-1、①-2のように枝番を振ってください。
- (5) 写真番号の導入設備が複数に分かれる場合は記号番号等を記載して判別できるようにしてください (A1~A8 等)
- (6) 設備の一部のみ更新する場合は更新対象設備を○囲い等で明示してください。  
更新後の設置場所が設置前と異なる場合は、既設図面と導入後図面は各々作成してください。